

六月の声を聴く、初夏の幕開け。
ジューンブライド（六月の花嫁）
は幸せになる！なぜ？

ヨーロッパではかつて三ヶ月五月の
農繁期の結婚は禁止とされ待ちに
待った結婚式だったとか。

若者たちが伴侶を見つけ、世代交
代が緩やかに進む事で、町は新陳代
謝を繰り返していきます。苦楽を二
人で共に歩む事で、想い出を紡ぎ成
長していきます。それは、やがて人
生の軌跡となり、忘れがたい想い出
となって輝きだす老年期に繋がる。

わたしの希望は、自分を完成させ
て伴侶を迎え入れるというより、豊
かさを目指してゆく過程で共に成長
を愉しみ、時間の重なりを慈しんで
ほしいと願うものです。

昨日、妹背牛駅に電車が止まり、
初老の夫婦とおぼしきお二人が駅か
ら歩いてこられました。仲良く手を
つないでおられ、知人がクラクショ
ンを鳴らし挨拶します。明るい日差
しの午後、何と云う幸せな光景でしょ
うか。たまたま杖替わりの手つなぎ
に近いものだったかもしれないせん
が、しかしそれは、とてもとても美
しい光景でもありました。

町長 田中一典



講師 辻村結香さん

昨年から妹背牛町役場で「広報もせうし」を担当している巻尾翔太です。カメラ片手に町内を駆け巡り、あつという間に2年目に入りました。今回から、妹背牛町の魅力を再発見し、広く深く知ってもらうため、「モー突進レポート」を連載します。

モー突進レポート
SHOW TIME
翔たいむ



第一回目は太極拳サークル「ローズマリー」の活動に参加させていただきました。

ローズマリーは13人の会員で毎週金曜日に活動しています。

太極拳というとゆっくりと動くイメージ。「いつも友達からドンくさいと言われていたボクでも、これなら楽勝かも」なんて考えながら練習会場へ。

講師の辻村結香さんの指導で、早速練習が始まりました。辻村先生は長身でとてもキレイな人。でも練習が始まるとキラリとした目つきに真剣な表情、雰囲気が変わってチョッピリ怖そう…

先生の後ろにつき、見よう見まねでやってみると「あれ？同じようにやっているつもりなのに…うまくできてない？」見かねた辻村先生や生徒の皆さんに指導していただき、なんとか形にすることができました。



ほらもっと手を上げて



なんだかボクだけ益踊りみたい…

太極拳サークル 「ローズマリー」



練習のおかげでばっちり決まりました

初体験の太極拳は、想像していた以上に難しく、筋力を使いました。気が付くと足がプルプルと震え額には汗が。代表の宮下登美子さんによると、サークル名の「ローズマリー」は「若返りのハーブ」と呼ばれていることから「みんな若返りしましょう」とつけたものだそう。どおりで参加している皆さんはとても若々しい！ボクも年齢相応の若々しさを取り戻さなければ…（実はこう見えて20歳）



ちょっと疲れたけど楽しかったな
今日もおいしいご飯が食べられそう

とても貴重な経験をさせていただきました。「ローズマリー」のみなさん、ありがとうございました。